

教育委員長に

難波淳一氏を選出しました



▲難波淳一氏

教育委員会は、12月臨時会にお

いて、委員長の任期満了（平成23年12月12日）に伴い、次期委員長に難波淳一氏（国分南在住、64歳）を選出しました。
任期は平成24年12月12日までの1年間です。
また、委員長職務代理者に海野恵子氏を指定しました。

「認知症講演会 in えびな」を開催します

問 高齢介護課 ☎（235）4950

- ▼認知症について、正しい知識をもち、認知症の人や家族を支え、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを目指して講演会を開催します。
- ▼日時 1月31日（火）14時～16時（受け付けは13時30分）
- ▼会場 市役所401会議室
- ▼定員 先着150人
- ▼講師 川崎幸クリニック院長・杉山孝博氏、海老名市介護者の会・市川ひろ子氏
- ▼費用 無料
- ▼申し込み 1月4日（水）から、直接または電話で高齢介護課へ。

広報えびな録音版 障がい者手帳（視覚）をお持ちのご希望の方にお送りします
問 市社会福祉協議会 ☎（235）0220

海老名むかしばなし

りゅうとう 竜灯の松 まつ

国分（こくぶん）に「お観音さま」とも「水堂（みずどう）」ともよばれている清水寺（しみずでら）があります。現在（げんざい）は、龍峰寺（りゅうほうじ）と一緒になっています。この清水寺（しみずでら）の仁王門（におうもん）の前に今（いま）から百年（ひゃくねん）ぐらい前（まえ）まで大きな素晴らしい松（まつ）がそびえ立（た）って

いました。「竜灯（りゅうとう）の松（まつ）」と呼ばれたこの松（まつ）にまつわる話（はなし）を紹介（しょうかい）します。

清水寺（しみずでら）からそれほど遠（とほ）くない所に目久尻川（めくしりがわ）をせきとめてつくられた滝（たき）がありました。この滝（たき）に一匹（いっぴき）の竜（りゅう）が住（す）んでい



海老名の民話を元にした、むかしばなしを紹介（しょうかい）します。市の歴史（れきし）や土地（ち）にまつわる伝説（でんせつ）などを通して、海老名（えびな）をより身近（みぢか）に感じていただきたいと思います。お子（こ）さんでも読み（よ）みやすいよう、漢

「家族教室」のご案内 「統合失調症の理解と再発予防」

問 障がい福祉課 ☎（235）4812

同じ立場（たてまち）の家族（かぞ）同士（どうし）、みんなで悩み（なや）みや困（こ）り事（こと）について語り（か）いませんか。一日（いちにち）だけの参加（さんか）も可能（可能）です。

家族（かぞ）・30人
▼共催（きぐい） 厚木保健福祉事務所
▼申し込み 直接（じきく）または電話（でんわ）で、障（しょう）がい福祉課（ふくし課）へ。

	日時・会場	内容	講師
第1回	2月8日（水） 13時30分～15時30分 市役所附属棟C会議室	・ ところの病気の理解と治療 ～統合失調症について～	県精神保健福祉センター 医師・川本絵理氏
第2回	2月13日（月） 13時30分～15時30分 市役所附属棟D会議室	・ お薬と上手（うまい）に付き合うために ～ところの病気と薬（くすり）の関係～ ・ グループワーク	ヤマグチ薬局本厚木店 管理薬剤師・中田安彦氏
第3回	2月24日（金） 13時30分～15時30分 市役所附属棟B会議室	・ 家族のところや健康 ・ 当事者（当事者）と当事者（当事者）家族（かぞ）の話	相模原ところの相談室 精神保健福祉士・若林菊雄氏 当事者（当事者）の立場（たてまち）の方（かた）
第4回	2月29日（水） 10時～14時 各施設（市役所集合・解散）	・ 施設見学 海老名市・座間市内の地域活動支援センター、相談支援事業所、就労継続支援B型事業所など ※途中昼食あり（自己負担）	各施設担当者
第5回	3月6日（火） 13時30分～15時30分 市役所401会議室	・ 福祉制度について ・ 就労支援について	市障がい福祉課保健師 市保険年金課職員 就労援助センター「ほむ」職員

ました。竜（りゅう）は夜（よる）になると清水寺（しみずでら）に行（い）き、大きな松（まつ）の一番（いちばん）高いところ（ところ）に、仏様（ほとけさま）の教え（おしえ）をしめす明（あ）かりをあげて、お観音（かんのん）様（さま）につかえていました。村人（むらびと）は、毎夜（まいよ）この松（まつ）にあがる明（あ）かりを見て、喜び（よろこ）び、この松（まつ）を「竜灯（りゅうとう）の松（まつ）」と呼（よ）んで大切にしました。竜灯（りゅうとう）とは、竜（りゅう）の灯（あかり）という意味（いみ）です。

ある年（とし）のことです。

茅ヶ崎（ちがさき）の漁師（りゅうし）が漁（りょう）に出（で）たところ、天（てん）気が急（いそ）ぎに変わ（かわ）り大（おお）あらしにな（な）ってしま（しま）いました。

舟（ふね）は沖（おき）へ沖（おき）へと流（なが）されていくので、漁師（りゅうし）は一生懸命（いっしょうけんめい）こいで陸地（りくち）に戻（もど）ろうとするのです

が、自然（しぜん）の力（ちから）にはか（か）ないま（ま）せん。そのうち（うち）とうとう夜（よる）にな（な）ってしま（しま）い、どの方（ほう）向（こう）に舟（ふね）をこ（こ）いでい（い）たら（たら）い（い）か（か）わ（わ）か（か）ら（ら）な（な）く（く）な（な）りました。漁師（りゅうし）はこ

ぎ疲（つか）れて舟（ふね）の中（なか）に倒（たお）れてしま（しま）いました。

すると夢（ゆめ）の中（なか）に、日（ひ）ごろ信（しん）仰（こう）して（して）いた水堂（みずどう）の観音（かんのん）様（さま）が姿（すがた）を現（あらわ）され、「わたし（わたし）があな（あなた）た（た）を助（たす）けてあげ（あげ）ます。この松（まつ）の明（あ）かり（かり）を目（め）指（さ）して、こ（こ）い（い）で（で）きなさい」と竜灯（りゅうとう）の松（まつ）を指（さ）し（し）ました。ぱ（ぱ）と目（め）をさ（さ）ま（ま）した

漁師（りゅうし）は、あり（あり）がたい観音（かんのん）様（さま）の教（お）えだ（だ）、と勇（ゆう）気（き）を振（ふ）る（る）い（い）起（お）こ（こ）して、はるか北（きた）に見（み）える竜灯（りゅうとう）の松（まつ）を目（め）指（さ）してこ（こ）い（い）でゆ（ゆ）き、陸地（りくち）につく（つく）こ（こ）とがで（で）き（き）ま（ま）した。

今（いま）は竜灯（りゅうとう）の松（まつ）のあ（あ）とも（とも）あり（あり）ま（ま）せんが、竜灯（りゅうとう）の松（まつ）をえ（え）が（が）い（い）た大（おお）きな絵（え）馬（うま）や記（き）念（ねん）碑（ひ）が残（のこ）っ（っ）て（て）い（い）ま（ま）す。

（こどもえびなむかしばなし第1集（しゅう）より）